

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	医学アカデミー
設置者名	学校法人医学アカデミー

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	薬剤師養成科	夜・通信	327 単位時間	80 単位時間	
医療専門課程	理学療法学科	夜・通信	340 単位時間	240 単位時間	
医療専門課程	理学療法学科 夜間部	夜・通信	348 単位時間	240 単位時間	
医療専門課程	歯科衛生士学科 (午前部)	夜・通信	288 単位時間	240 単位時間	
医療専門課程	歯科衛生士学科 (午後部)	夜・通信	288 単位時間	240 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 https://disclosures.igakuacademy.ac.jp/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	医学アカデミー
設置者名	学校法人医学アカデミー

1. 理事（役員）名簿の公表方法

当学のホームページに公開 https://disclosures.igakuacademy.ac.jp/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	医師	2023.12.21～2025.5.29、 2025.5.29～2027 年定時評議員会の終結まで	医療人養成の観点から 学校運営のアドバイス
非常勤	会社役員	2023.12.21～2025.5.29、 2025.5.29～2027 年定時評議員会の終結まで	業界情報の収集と学校運営に 関するアドバイス
非常勤	会社役員	2023.12.21～2025.5.29、 2025.5.29～2027 年定時評議員会の終結まで	業界情報の収集と学校運営に 関するアドバイス
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	医学アカデミー
設置者名	学校法人医学アカデミー

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取り組みの概要)</p> <p>【作成方法について】</p> <p>シラバス（授業計画）は、授業科目名、担当教員、単位数、授業内容、到達目標、成績評価の基準、使用教材について記載することとし、担当教員が作成、見直しを行い、教務会議で内容を検討・承認する。</p> <p>【作成・公表の時期について】</p> <p>前年度中に作成を行い、新年度に学校 HP に公表する。</p> <p>学生にはオリエンテーションにて説明を行い、計画的に学習できるよう指導する</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生には配布すると共に HP で公表</p> <p>https://disclosures.igakuacademy.ac.jp/</p>
<p>2. 学習意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学習成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学習成果の評価に係る取り組みの概要)</p> <p>学則及び細則において、学内の成績評価、進級、卒業要件について規定している。試験の得点、出席状況、授業態度、課題への取り組みなどを総合的に評価している。</p> <p>学則 第 10 条（成績評価）要約</p> <p>成績評価 各科目授業回数の 2/3 以上の出席があることで、定期試験を受けることができ、各科目 60 点以上であれば、各単位が修得できる。成績評価については、終講試験・レポートにより行い、GPA により 60 点以上を合格とし、60 点未満を不合格とする。各学年で規定の単位を修得した者は進級を認める。</p> <p>第 21 条（課程修了の認定）</p> <p>第 10 条に定める授業科目の成績評価に基づき、すべての科目を終了した場合には校長は課程修了の認定を行う。</p> <p>所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取り組みの概要)

客観的な指標として GPA を設定する。GPA の算出方法は、各履修科目の素点 90 点～100 点、80 点～89 点、70 点～79 点、60 点～69 点、0 点～59 点に対し、それぞれ 4、3、2、1、0 の GP に置き換え、各授業科目の単位数を乗じた数値を履修科目の総単位数で除し算出する。(小数点 2 位を四捨五入)

合否区分	評価	評点	GP (グレードポイント)
合格	S	100 点～90 点	4.0
	A	89 点～80 点	3.0
	B	79 点～70 点	2.0
	C	69 点～60 点	1.0
不合格	D	59 点以下	0.0

※算出式

$$\frac{4.0 \times S \text{ の修得単位数} + 3.0 \times A \text{ の修得単位数} + 2.0 \times B \text{ の修得単位数} + 1.0 \times C \text{ の修得単位数}}{\text{履修科目の総単位数 (D の単位数を含む)}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法

学生には成績表と併せて配布する。

HP にて公表 <https://disclosures.igakuacademy.ac.jp/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取り組みの概要)

学則 第 10 条、第 21 条および第 22 条 抜粋

(課程修了の認定)

第 21 条 第 10 条に定める授業科目の成績評価に基づき、すべての科目を修了した場合には校長は課程修了の認定を行う。

2 所定の修業年限以上在学し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。

(称号の授与) 第 22 条

前条により、医療専門課程理学療法学科(昼間部・夜間部)を修了した者には専門士(医療専門課程)の称号を授与する。

卒業の認定に関する方針の公表方法

HP にて公表 <https://disclosures.igakuacademy.ac.jp/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	医学アカデミー
設置者名	学校法人医学アカデミー

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	入手方法：図書室に配架及び希望者へは配布
収支計算書又は損益計算書	入手方法：図書室に配架及び希望者へは配布
財産目録	入手方法：図書室に配架及び希望者へは配布
事業報告書	入手方法：図書室に配架及び希望者へは配布
監事による監査報告（書）	入手方法：図書室に配架及び希望者へは配布

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	薬剤師養成科				
修業 年限	昼夜	全課程の終了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1049 単位時間 ／単位	1049 単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	単位時間/ 単位	
			1049単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	94人	0人	9人	2人	11人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準			
(概要)			
様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照			
学修支援等			
(概要)			
<p>薬剤師国家試験合格を目指し、段階的かつ個別に対応した学習支援を実施している。具体的には、毎週実施される週間復習テストや、月に1回の月間復習テストにより、継続的な知識の定着を図っている。さらに、年3回の統一模擬試験を通して、全体的な習熟度を把握している。</p> <p>これらの結果をもとに、個別面談を実施し、一人ひとりの学習状況を丁寧に分析。成績や理解度に応じて、補講や個別指導など、必要な学習支援を柔軟に提供している。特に、各科目の苦手分野を克服できるよう重点的なサポートを行い、最終目標である国家試験合格に向けて、着実な学力向上を支援している。</p>			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む)	その他
46人 (100%)	0人 (%)	22人 (47.8%)	24人 (52.2%)
(主な就職、業界等) 病院、薬局、ドラッグストアなど			
(就職指導内容)			
薬局見学、会社説明会への取次、履歴書の添削、面接・マナー指導を実施。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
-		
(中退防止・中退者支援のための取り組み)		
<p>学生個々に学習・生活に関するアドバイザーを設定し定期的に学生全員と個別面談をおこなっている。成績や健康に問題のある学生に対しては、学習方法や生活習慣の改善等指導、保護者への連絡を行っている。学生の希望に応じて心理カウンセラーとの面談も実施している。</p>		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	理学療法学科（昼間）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の終了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3330 単位時間 /単位	1122 単位時間/ 単位	1000 単位時間/単 位	1208 単位時間/単 位		
			3330単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	114人	0人	5人	22人	28人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照			
成績評価の基準・方法			
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照			
学修支援等			
(概要) 各クラスに担任を配置し、さらに個別面談を実施する際は学生が教員（担任以外を含む）を選択できる制度を設け学生一人に関わる教員を増やしている。また、2年生は臨床実習に関するサポート、3年生は国家試験、就職に関するサポート中心としている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む）	その他
42人 (100.0%)	0人 (0%)	31人 (73.8%)	11人 (26.2%)
(主な就職、業界等)			

医療提供施設（病院、クリニック など）
（就職指導内容） 1、2年生より就職に関するガイダンスを実施し、就職に対する意識を高めている。3年生では就職説明会の開催、履歴書作成指導、面接練習などを実施している。
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格（第60回理学療法士国家試験 受験者数42名 合格者数31名）
（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
130人	4人	3.1%
（中途退学の主な理由） 学力不振、学生生活不適應、就職等		
（中退防止・中退者支援のための取り組み） 担任が日々の学生の学校生活状況や学習状況等の把握に努め、学年主任の指導の下に専任教員全体で情報を共有し適切な支援を行う。必要に応じて個人面談の実施や保護者との連絡を密にし、連携して支援する体制を整える。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
医療関係		医療専門課程	理学療法学科（夜間）		○		
修業 年限	昼夜	全課程の終了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	3120 単位時間 ／単位	1108 単位時間/単 位	832 単位時間/単 位	1180 単位時間/単 位	単位時間/単 位	単位時間/単 位
			3120単位時間／単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	86人	0人	6人	11人	17人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法			
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照			
卒業・進級の認定基準			
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照			
学修支援等			
(概要) 各クラスに担任を配置し、さらに個別面談を実施する際は学生が教員（担任以外を含む）を選択できる制度を設け学生一人に関わる教員を増やしている。また、2年生は臨床実習に関するサポート、3年生は国家試験、就職に関するサポート中心としている。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む)	その他
41人 (100.0%)	0人 (0%)	31人 (75.6%)	10人 (24.4%)
(主な就職、業界等) 医療提供施設（病院、クリニック など）、福祉関連施設（高齢者施設、障害児施設 など）			
(就職指導内容) 1、2年生より就職に関するガイダンスを実施し、就職に対する意識を高めている。3年生では就職説明会の開催、履歴書作成指導、面接練習などを実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士国家試験受験資格（第60回理学療法士国家試験 受験者数41名 合格者数32名）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
122人	14人	11.5%
(中途退学の主な理由) 学力不振、学生生活不適應、就職、病気等		
(中退防止・中退者支援のための取り組み) 担任が日々の学生の学校生活状況や学習状況等の把握に努め、学年主任の指導の下に専任教員全体で情報を共有し適切な支援を行う。必要に応じて個人面談の実施や保護者との連絡を密にし、連携して支援する体制を整える。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療関係		医療専門課程	歯科衛生士学科 昼間（午前部）				
修業 年限	昼夜	全課程の終了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2564 単位時間 ／単位	1312 単位時間/単 位	352 単位時間/単 位	900 単位時間/単 位		
			2564 単位時間／単位				
生徒総定 員数	生徒実 員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員 数	総教員数		
120人	40人	0人	3人	28人	31人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照			
成績評価の基準・方法			
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照			
卒業・進級の認定基準			
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照			
学修支援等			
（概要） ・基礎学力向上および学習習慣をつけるために入学前教育プログラムを実施している。 ・各科目で終講試験を実施し、習熟度を確認する。遅れが見られる場合は担任による個別面談や指導を実施する。 ・成績向上が必要な学生には必要に応じ補習を実施し、理解を深める機会を提供していく。			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む）	その他

人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 企業見学、就職ガイダンス、身だしなみ・マナー講習、個人面談、履歴書・作文等の添削指導を行う予定			
(主な学修成果(資格・検定等)) 歯科衛生士国家試験受験資格			
(備考)(任意記載事項) 2025年4月開校のため、第一期生の卒業者は2028年3月となる			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
- 人	- 人	- %
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取り組み) 担任が日々の学生の学校生活状況や学習状況等の把握に努め、学年主任の指導の下に専任教員全体で情報を共有し適切な支援を行う。必要に応じて個人面談の実施や保護者との連絡を密にし、連携して支援する体制を整える。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士		高度専門士	
医療関係		医療専門課程	歯科衛生士学科 昼間(午後部)				
修業 年限	昼夜	全課程の終了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2564 単位時間 /単位	1312 単位時間/ 単位	352 単位時間/ 単位	900 単位時間/ 単位		
			2564単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	25人	0人	3人	28人	31人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）			
<p>（概要）</p> <p>様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照</p>			
成績評価の基準・方法			
<p>（概要）</p> <p>様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照</p>			
卒業・進級の認定基準			
<p>（概要）</p> <p>様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照</p>			
学修支援等			
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力向上および学習習慣をつけるために入学前教育プログラムを実施している。 ・各科目で終講試験を実施し、習熟度を確認する。遅れが見られる場合は担任による個別面談や指導を実施する。 ・成績向上が必要な学生には必要に応じ補習を実施し、理解を深める機会を提供していく。 			
卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む）	その他
人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容）			
企業見学、就職ガイダンス、身だしなみ・マナー講習、個人面談、履歴書・作文等の添削指導を行う予定			
（主な学修成果（資格・検定等））			
歯科衛生士国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項） 2025年4月開校のため、第一期生の卒業生は2028年3月となる			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
- 人	- 人	- %
（中途退学の主な理由）		

(中退防止・中退者支援のための取り組み)

担任が日々の学生の学校生活状況や学習状況等の把握に努め、学年主任の指導の下に専任教員全体で情報を共有し適切な支援を行う。必要に応じて個人面談の実施や保護者との連絡を密にし、連携して支援する体制を整える。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
薬剤師養成科	50,000円	1,150,000円	0円	
薬剤師養成科 (特別コース)	50,000円	3,050,000円	0円	
理学療法学科(昼間)	100,000円	880,000円	485,000円	その他: 施設料・実験実習費
理学療法学科(夜間)	100,000円	700,000円	385,000円	その他: 施設料・実験実習費
歯科衛生士学科	190,000円	500,000円 (1年目)	250,000円 (1年目)	その他:演習・実習費1 5万円+施設設備費10 万円(別途諸経費)
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
2025年度中に関係者で自己評価委員会を結成し、翌年度末までに自己評価報告書を作成、ホームページで公表する。		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
外部委員による学校関係者評価委員会を結成し、自己評価報告について説明し意見を求める。 2025年度に係る評価を2026年度末までにホームページで公表する		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を実施し2025年度に係る評価を2026年度末までにその結果を公表するために委員の専任を行う。		

学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
2025年度に係る評価を2026年度末までにホームページにて公表する。		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)
2025年度に係る評価を2026年度末までにホームページにて公表する予定。